

授業科目名		担当講師名		対象学年	
人間の体としくみⅠ		野崎 義弘 野元 裕輔 満 純孝		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室 視聴覚室	前期・後期		
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある講師による講義。				
学修内容	解剖生理序論・細胞・成長・老化、内分泌臓器とホルモンの作用、免疫と生体防御、腎泌尿器、男性生殖器、女性生殖器				
到達目標	正常な人体の形態、機能を関連づけて系統的に理解し、生命への畏敬の念を育む。 人体の内部環境の調節について理解する。 皮膚及び生体防御機構としての免疫の仕組みについて理解する 腎臓の構造と尿の生成から、人体の水分バランスの調節と老廃物の排泄について理解する。 男性生殖器と女性生殖器の構造と受精・妊娠について理解する。				
事前学習	教科書を読んでおくこと。				

授業計画

No.	授 業 内 容	
1	第1章 解剖生理学を学ぶための基礎知識 人体の部位、体表から触知できる骨格・筋・動脈、器官、組織、細胞	野 崎
2	生命維持システム、内部環境とホメオスタシス	
3	第10章小児の成長と老化	
4	第6章 内臓機能の調節 自律神経の構造と機能：交感神経と副交感神経	
5	視床下部、下垂体の構造とホルモン 甲状腺と副甲状腺の構造とホルモン	
6	膵臓の構造とホルモン、副腎の構造とホルモン、性腺の構造とホルモン	
7	ホルモン分泌の調整：神経調節、フィードバック機構 ストレスとホルモン・乳房の発達と乳汁分泌・高血圧をきたすホルモン	
8	第9章 皮膚の構造と機能・生体の防御機構 身体機能の防御と適応（免疫） 非特異的防御機構：皮膚、粘膜、貪食作用 特異的防御機構：液性免疫、細胞性免疫、アレルギー	野 元
9	生体防御の関連臓器：リンパ節、胸腺、脾臓	
10	第5章 体液の調節と尿の生成 腎臓、糸球体、尿細管の構造と機能	上 村
11	傍糸球体装置、クリアランスと糸球体濾過装置 腎臓から分泌される生理活性物質（エリスロポエチン、ビタミンDの活性化）	
12	排尿路の構造（尿管・膀胱・尿道）、尿の貯蔵と排尿、体液の調節	
13	第10章発生・生殖と老化のしくみ 男性生殖器：精路と付属生殖腺、男性の外陰部、勃起と射精	
14	女性生殖器：卵巣、卵管、子宮、膣、女性の外陰部と会陰、乳腺 女性の生殖機能：卵巣周期、月経周期 受精と胎児の発生：生殖細胞と受精、初期発生と着床 胎児と胎盤、妊娠中の母体の変化	
15	まとめ 終講試験	
履修上の要件		
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院	
成績評価の方法	全科目を併せて筆記試験	
備考	全科目を併せて1単位	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
人間の体としくみⅡ		向井 奉文 郡山 昌敬	加納 達夫 大野 郁夫	1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある講師による講義。				
学修内容	呼吸器、血液、循環器、感覚器（眼・耳鼻）				
到達目標	正常な人体の形態、機能に関連づけて系統的に理解し生命への畏敬の念を育む。 呼吸の仕組みについて理解する。 血液の成分と血球の働き、 心臓の形態と心収縮の仕組みについて理解する。 全身の血管の名称、血管の構造、血液の働きについて理解する。 外部情報の入り口としての、感覚器の構造と働きを理解する。				
事前学習	教科書を読んでおく。				

授業計画

No.	授 業 内 容	
1	第3章 呼吸と血液のはたらき 呼吸器の構造：上気道、下気道、肺、胸膜、縦隔の構造	向井
2	外呼吸・内呼吸、呼吸運動、呼吸のメカニズム、呼吸筋 呼吸気量（呼吸数、換気量、肺活量、1秒率とは？）	
3	肺におけるガス交換、酸素運搬、二酸化炭素運搬、血液ガス 肺循環、換気血流比不均衡	
4	呼吸の神経調節、呼吸中枢、化学受容器とは、肺の伸展受容器 呼吸運動の異常と病的呼吸	
5	第3章 呼吸と血液のはたらき 血液の組成と機能：赤血球・白血球・血小板・血漿・血液凝固	加納
6	血液型：ABO式血液型・Rh式血液型・交差適合試験、輸血について	
7	第4章 血液の循環とその調節 心臓の位置と外形、心臓の4つの部屋と4つの弁、心臓壁、冠動脈	
8	心臓の自動調律、刺激伝導系、心電図、心停止の4つの状態	
9	心臓の収縮 心拍出量と血圧 心室の圧・容積関係 フランクスターリングの心臓の法則 心音と心雑音	
10	血管の構造：血管の構造（動脈、静脈、毛細血管） 肺循環の血管、体循環の血管	
11	血圧のしくみ、血流量の調節、微小血管、チアノーゼ、起立性低血圧、うつ血性心不全、急性心不全、高血圧	郡山
12	第8章 情報の受容と処理 眼球の構造、視覚、眼球運動、眼球に関する反射	
13・14	耳の構造と聴覚、平衡覚、外耳・中耳・内耳 味覚と嗅覚	大野
15	まとめ 終講試験	
履修上の要件		
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院	
成績評価の方法	全科目を併せて筆記試験	
備考	全科目を併せて1単位	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
人間の体としくみⅢ		嘉川 潤一 稲 源一郎	岡田 敬史 津畑 修	1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室・視聴覚室	前期・後期		
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある講師による講義。				
学修内容	消化器、脳と神経・情報伝達、運動器				
到達目標	正常な人体の形態、機能を関連づけて系統的に理解し生命への畏敬の念を育む。 食物がどのようにして消化・吸収されるのかを理解する。 脳と神経の働きや情報伝達の仕組みについて理解する。 人体を構成している骨格と関節、関節の動きについて理解する。				
事前学習	教科書を読んでおく。				

授業計画

No.	授 業 内 容		
1	第 2 章	栄養の消化と吸収 口・咽頭・食道の構造と機能	嘉川
2		胃、小腸、大腸の構造と機能	
3		栄養素の消化と吸収	
4		膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能	
5		腹膜と腸間膜 内臓の位置関係	
6	第 8 章	情報の受容と処理 神経細胞と支持細胞、神経系の構造（中枢神経・末梢神経）	岡田
7		脳の構造と機能・脳神経の構造と機能 脳幹・大脳・小脳・間脳・脳室・髄膜・脳脊髄液の還流	
8		脊髄神経と脳神経の構造と機能	
9		脳波と睡眠、記憶、本態行動、情動行動 中枢神経の障害：意識障害、植物状態と脳死、失語	
1 0		運動機能と下行伝導路、錐体路・錐体外路 感覚機能と上行伝道路、皮膚感覚、視覚伝導路	
1 1	第 7 章	身体の支持と運動 骨の形態と構造、骨の組織と組成、骨の発生と成長、骨の連結	稲
1 2		骨格筋：体幹の骨格と筋（脊柱・胸郭・背部の筋・腹部の筋）	
1 3		骨格筋：上肢の骨格と筋（上肢の骨格と筋群、上肢の運動） 下肢の骨格と筋（下肢の骨格と筋群、下肢の運動） 頭頸部の骨格と筋	
1 4		骨格筋の収縮装置：筋フィラメント、骨格筋収縮のメカニズム 等尺性運動と等張性運動、不随意筋・平滑筋の収縮	津畑
1 5	まとめ 終講試験		
履修上の要件			
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院		
成績評価の方法	全科目を併せて筆記試験		
備考	全科目を併せて 1 単位		

授業科目名		担当講師名		対象学年	
生活を支える視点		林 なおみ 糸 ふじ代 山城 歩 根本 洋子		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室・実習室	後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義				
学修内容	日常生活行動を成り立たせている体のしくみと働きを学ぶ				
到達目標	1. 体の恒常性を維持する要素が理解できる。 2. 人間は体をどのように使って日常生活行動を行っているか理解できる。 3. 「運動」「消化」「排泄」の日常生活行動に関わる体の仕組みを理解できる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容		
1	体温とその調節 1. 熱の出納 2. 日内変動と性周期による変動 3. 体温調節 4. 発熱		林
2・3	脈拍と血圧 1. 心臓の構造と血液の流れ 2. 体循環と肺循環 3. 脈拍とは 4. 血圧とは 5. 血圧の調節		
4・5	呼吸 1. 呼吸器の構造 2. 呼吸 3. 呼吸運動の調節		
6	食べる 1. 食欲 2. 食行動 ①食物を口まで運ぶ ②食物の性質の判断 ③口の準備 3. 咀嚼し味わう		
7	飲み込む（嚥下）		糸
8	消化と吸収 1. 消化管の構造 2. 消化液の作用 3. 消化分泌の調整 4. 吸収後の栄養分		
9	動くために必要な身体のおくみ 筋肉・骨・関節の動きについて		
10	生活動作のしくみ ・姿勢 ・立つ ・起き上がる		山城
11	“トイレに行く” という行動 排泄が成立する一連の行動 排泄の生物学的、心理的、社会的意義 ・排尿について 尿をつくる腎臓のつくりとはたらき（尿生成 体液量調節）		根本
12	・排尿について 尿意と排尿するまでのメカニズム（畜尿反射）		
13	・排尿について 尿意と排尿するまでのメカニズム（排尿反射）		
14	・排便について 便をつくる大腸のつくりとはたらき 便意と排便するまでのメカニズム		
15	まとめ 終講試験		
履修上の要件			
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院		
成績評価の方法	全科目を併せて筆記試験		
備考	全科目を併せて1単位		

授業科目名		担当講師名		対象学年	
生化学		入江良彦		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (15)	教室	前期		
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある講師による講義。				
学修内容	細胞、組織、生命、生体反応、防御反応、栄養、代謝、健康				
到達目標	生体を構成している物質の種類と構造を理解し、その分布と代謝について理解する。				
事前学習	事前学習をしておく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第1章 生化学を学ぶための基礎知識：細胞の構造と機能 第2章 代謝の基礎と酵素・補酵素 三大栄養素の代謝 酵素の役割、補酵素、ビタミン
2	第3章 糖質の構造と機能：単糖、二糖、多糖
3	第4章 糖質代謝：解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、ATP 産生、糖新生
4	第5章 脂質の構造と機能：中性脂肪、コレステロール合成 第6章 脂質代謝：脂肪酸の分解、ケトン体
5	第10章 遺伝情報とその発現： DNA の複製、テロメア、転写のしくみ、翻訳とタンパク質の合成
6	第14章 細胞のシグナル伝達とがん
7	学習したことをパワーポイントにまとめてグループ発表
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 生化学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
病理学		向井 奉文		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (15)	教室	後期		
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	病気を正しく認識する。病気の原因、内因、外因を理解する。				
到達目標	疾病の成り立ちと病変の特徴の基礎的知識を習得する。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第1章 病理学で学ぶこと：病気の原因、公害病・医原病・職業がん 第2章 細胞・組織の障害と修復
2・3	第3章 循環障害：浮腫、充血とうっ血、出血、血栓症、塞栓症 虚血と梗塞、ショック 第4章 炎症と免疫、移植と再生医療： 炎症の各型、アレルギーと自己免疫疾患 臓器移植、骨髄移植
4・5	第5章 感染症：感染症法と検疫 第6章 代謝障害：脂質代謝障害、痛風、黄疸など 第7章 老化と死：死の三徴候、脳死と植物状態など
6・7	第8章 先天異常と遺伝子異常：染色体異常による疾患 第9章 腫瘍：腫瘍の広がり（リンパ行性転移、血行性転移、播種など）
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
栄養学		向井 祐美		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (15)	教室	後期		
実務経験	本科目は、管理栄養士として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	保健・医療における栄養学・栄養素の種類と働き、臨床栄養				
到達目標	1. 健康にとっての栄養の意義を学ぶ。 2. 食事療法の意義と食事指導の必要性を理解する。				
事前学習	予め教科書を読んでおくこと。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	栄養を学ぶということ 朝食について (DVD) 日本食文化 (DVD) 視聴 感想文提出 保健・医療における栄養学 看護と栄養 (グループワークまとめ提出)
2. 3	栄養素の種類とはたらき 欠乏症 糖質、脂質、タンパク質、ビタミン A、ビタミン D、ビタミン E ビタミン K、ビタミン B 群、ビタミン C、ミネラル 食物繊維、水
4・5	食物の消化・栄養素の吸収
6	臨床栄養 1. 栄養補給法 病院食 経腸栄養製品 静脈栄養法 疾患別・症状別食事療法
7	エネルギー代謝 基礎代謝量、推定エネルギー必要量 ライフステージと栄養 健康づくりと食生活
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 医学書院 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
微生物と感染症		小林 徳龍		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (30)	教室 化学実験室	前期・後期		
実務経験	本科目は、大学での講義や研究などの実務経験のある教員による講義				
学修内容	病原微生物、感染症について理解する。				
到達目標	微生物の人体に及ぼす影響を理解し、免疫機構の重要性を学ぶ。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第 1 章 微生物と微生物学：微生物とは、微生物の歴史、特徴
2	第 2 章 微生物の性質：細菌の形態と特徴、培養環境と特徴
3・4	第 3 章 真菌の性質：細菌の培養、代謝 細菌の遺伝と変異、細菌の増殖
5	第 6 章 感染と感染症
6	第 8 章 感染症発生要因、感染源経路
7	第 9 章 滅菌と消毒 薬剤耐性
8	細菌培養とコロニー観察 (演習)
9	第 12 章 感染症の現状と対策：日和見感染、院内感染、ワクチンと予防接種
10・11・12	第 7 章 感染に対する生体防御機構：自然免疫のしくみ 獲得免疫のしくみ
13	第 13 章 病原細菌と細菌感染症
14	第 16 章 病原ウイルスとウイルス感染症
15	まとめ レポート・終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
臨床検査の基礎		根本 充弘		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (15)	教室	後期		
実務経験	本科目は、臨床検査技師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	検体検査、生体検査の目的や方法を理解する。データーを読み取る。				
到達目標	臨床検査における看護師の役割を理解する。 臨床検査の意義や目的を理解し、検査データーを解釈することができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第 1 章 臨床検査とその役割 第 2 章 看護師の役割
2	第 3 章 一般検査
3	第 4 章 血液検査
4	第 5 章 生化学検査
5	第 6 章 免疫・血清学的検査
6	第 9 章 病理学的検査 第 10 章 生体検査
7	第 7 章 内分泌的検査：ホルモン検査
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院 検査・データーがまるごとわかる本 慧文社
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
総合医療論		小川 信		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (15)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	現代医療を知る 保健・医療の現場で問われている課題を理解する。				
到達目標	人間をとりまく社会や環境の変化に伴う保健・医療・福祉の役割と仕組みを学び、社会に貢献する方向性、視点を理解する。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第 1 章 医療と看護の原点：命と看護師について考える
2	第 2 章 医療の歩みと医療観の変遷
3	第 3 章 私たちの生活と健康：福祉行政 一次予防と健康増進 高齢者介護をめぐる問題点 心の健康と精神医療
4	第 4 章 科学技術の進歩と現代医療の最前線
5	第 5 章 現代医療の新たな課題：生命倫理学と臨床倫理学の展開
6	第 6 章 医療を見つめ直す新しい視点：患者の安全 知る権利
7	第 7 章 保健・医療・福祉の潮流：様々な看護職種、在宅医療
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護講座 別巻 総合医療論 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	